

■読みに困難のある子どもたちへの実践事例

読みに困難を感じる子どもの読書活動を 意欲的にする取り組みについて（2年次）

島根県安来市立井尻小学校
高羽 圭

活用の目的

昨年度よりマルチメディアDAISY図書を活用した取り組みを始めました。読みに困難を感じている子どもが複数在籍する現状から、実態は違っても、どの子にも本を読む楽しさを感じさせたり、書いてあることの感想を簡潔に書いたりすることができる力をつけてほしいと考え、今年度も引き続き取り組むことにしました。

活用のための準備

〈全校の児童に周知〉

読書にはいろいろな方法や手段があり、一人ひとりに合った読書のあり方を探る一つの方法としてマルチメディアDAISY図書があり、だれでも活用できることを周知して、今年度もスタートしました。

全校朝礼で、「一人ひとりにあった学び方」というお話をし、さまざまな学習の方法（手だて）があることを伝え、必要な子どもが安心して取り組める雰囲気づくりを行いました。

〈実態把握を行い、特に利用してほしい児童にすすめる〉

担任による実態把握から特に活用してほしい子どもをピックアップし、本人の希望も聞きながらすすめていきました。また、使用前後にアンケート等も実施しました。

〈使用する方法を決める〉

マルチメディアDAISY図書を使う時間、場所については昨年度に引き続き決めておき、使いたい子どもは、事前に図書館司書に希望を伝えておいて使用順番を調整しながら使用するようにしました。

今年度は、台数を増やし、より多くの児童が活用できるようにしました。

活動の実際

〈対象〉

通常学級、特別支援学級を問わず、さまざまな理由で読みに困難を感じ、読書に抵抗のある子どもたちを対象としました。

〈校内での活用場所〉

学校図書館内にDAISYスペースを設置しました。

〈校内での環境整備〉

昨年度の実績に基づき、学校図書館内の一角にDAISYコーナーを広げ、パソコン4台とiPad 1台が使用できるように設置しました。

DAISYコーナーは、他の図書スペースと特に隔てなく設置し、だれでも違和感なく活用できるようにしました。

集中して読書ができるように、すべてのパソコン、iPadにヘッドホンを取り付けました。

マルチメディアDAISY図書の書籍版を他の本と分けて、手に取りやすい場所に設置しました。

〈校内での活用時間〉

図書館司書のいる給食前の待ち時間や業間、昼休みの時間をはじめ、授業内容によっては、授業中も活用するようすすめました。

活用の様子

給食前の待ち時間に、1週間交代で利用してもらっています。低学年は短いお話が中心なので何冊も読み、感想のワークシートを書いています。中学年からは長いお話に挑戦してもらったので、何週間もかけて読んでいる子も

います。

また、子どもたちの話から、学校で本を借りても最後まで読み切ることがあまりないということがわかりました。マルチメディアDAISY図書では最後まで読み切ってもらいたいと考え、途中で終わりにせず、最後まで読むようになっています。



1年 Yさんの様子

〈Aさん（1年生）の様子について〉

Aさんは何とか字は読めるものの、あまり本に興味がないようでした。読み聞かせは好きなので、マルチメディアDAISY図書だと集中してお話が楽しめるのではないかと思います。初めは他の人の画面が気になったり、退屈してしまったりしていましたが、回を重ねるうちにお話に入り込み、聞きながら笑ったりする姿が見られるようになりました。感想のワークシートも初めは表紙を写すのみでしたが、面白かった場面の絵を書いたり、説明を書いたりできるようになりました。こ

の頃はマルチメディアDAISY図書ではない本も興味をもって読めるようになっていきます。

〈Yさん（1年生）の様子について〉

Yさんは、本は好きなのになかなか字が覚えられませんでした。文章の区切りもよくわかっていないようだったので、マルチメディアDAISY図書を利用して本を楽しんでもらいたいと考えました。「このお話知ってる！ボクの好きなやつだ！」等と表紙から楽しみ、「ああ、楽しかった！次はどんなお話かなあ？」と言ってくれることもありました。感想のワークシートは好きな場面を書くだけでしたが、今は説明を書いてくれたり、感想を話してくれることもあります。本を読んだり、音読したりすることもずいぶん上達しています。



給食前のAさん、Yさんをはじめ、読書に親しむ子どもたちの様子

研究の評価（成果と課題）

取り組みも2年目になり、子どもたちもマルチメディアDAISY図書を活用することに慣れてきたように思います。「一人ひとりが自分に合った形で読書活動を進めていく」という共通理解のもと、それぞれの子どもの実態に合わせた支援を進めることができました。本校の実態として、文字を目で追って読書したり音読したりすることに苦手さがあり、困難を感じてつまずいている子どもが多いように思われます。こうした子どもたちにとってマルチメディアDAISY図書を使うことで、安心して読書に親しむことができていると思います。

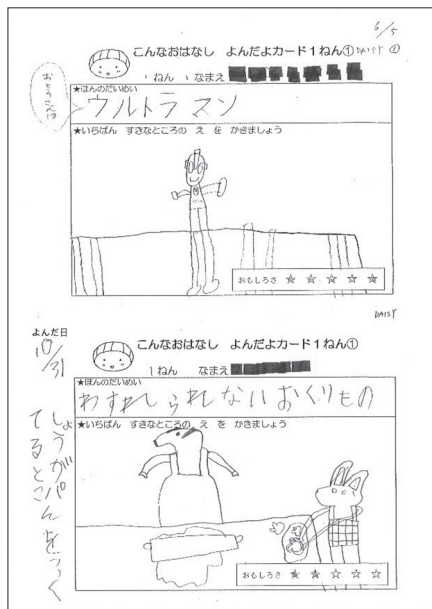
困難のあるなしにかかわらず、だれでも体験でき、自分で取捨選択できるようにしたことで取り組みやすくなったと思われます。学校図書館のユニバーサルデザイン化ととらえています。

今年度は、ほとんどの活用が給食前の時間に限られてしまいました。今後、朝読書などの短時間に読み終わられる読み物を「わいわい文庫」に整備していただき、いつでも活用できる環境にしていきたいです。また、授業においても活用できるようになると、さらに効果があらわれてくると考えます。

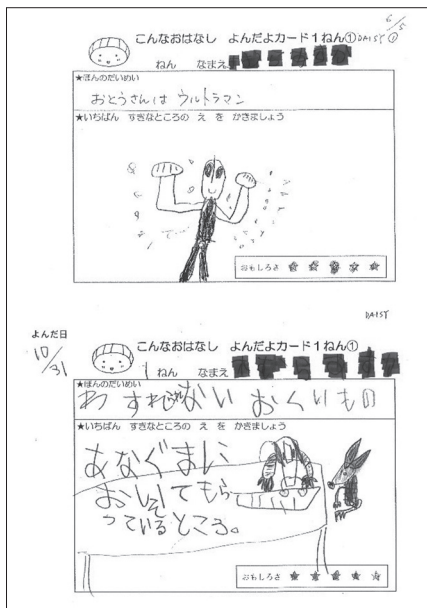
マルチメディアDAISY図書の活用で読書大好き、図書館大好きな“井尻っ子”になってほしいと願っています。

〈ワークシートの変化〉

6月（上）と10月（下）に書いた「読んだよカード」です。



Yさんの読んだよカード



Aさんの読んだよカード